聖書に出てくる植物「オリーブ」

切り絵　中谷隆志

秋学期チャペル・アワー統一テーマ

**「悪を避け、善を行い　平和を尋ね求め、追い求めよ。」**

**（詩編34編15節より）**

２０２２年２月、ウクライナ各地へのロシアによる砲撃、空爆が始まりました。その背景は歴史的、地政学的に見て複雑です。しかしその中で多くの民衆、特に弱さの中にいる人々が命の危機に瀕し、生活の場を奪われ、人権や安全保障がむしり取られています。また香港で、ミャンマーで、世界中で人々が傷つき、倒れています。私たちは、一刻も早く世界に平和が訪れることを祈ります。私たちの祈りは「山火事に一滴の水」でしょうが、「滴が大河となる」ことを信じ、「平和を尋ね求め、追い求め」たいと願います。また聖書は日々の私たちの生活態度について、「悪を避け、善を行」うことを、平和を求める前提として示唆しています。マザー・テレサは生前「世界平和のために私たちができることは何ですか?」と問われた際に「家に帰り、家族を大切にしてあげてください。」と答えたと言います。世界平和を願いつつ、自らの周りで平和を作り出せない自分に出会うことがあります。また世界中の人々の人権が守られるように願いつつ、自分の隣人の悪口を言ってしまうことがあります。それは本当に平和を尋ね求めているのかと、聖書は問いかけているのです。

**（キリスト教文化センター准教授　森田　喜基）**

# チャペル・アワー案内

2022年9月21日

No.257


同志社大学

キリスト教文化センター

京田辺
0774-65-7370

今出川
075-251-3320

HP
https://www.christian-center.jp/


**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更になる可能性があります。最新の情報はＨＰにてお知らせします。**

## お知らせ

**○ Doshisha Spirit Week 2022 秋**

11月7日（月）～11月12日（土）
同志社大学の歴史や建学の精神、新島襄についての貴重なお話を伺い、同志社人としてのアイデンティティをより深める機会として、Doshisha Spirit Week を毎年、春学期と秋学期に開催しています。詳細につきましては、ホームページをご確認ください。
＜京田辺校地＞
・應援團演舞
11月7日（月）12:30 ～ 13:00
ローム記念館劇場空間
・講演
11月8日（火）14:55 ～
「『良心』は海外で人種問題に応えたか
――大久保真次郎と清水安三」
桜美林大学 芸術文化学群准教授・大学チャプレン
佐原　光児
11月10日（木）14:55 ～
「21歳からの出発～ルビコン川を渡る新島襄～」
元神学部教授　本井　康博
＜今出川校地＞
・キャンパスめぐり隊
案内人による解説つきで、今出川キャンパス内をめぐり歩きます。
11月11日（金）13:30 ～
「ノスタルジー―同志社大学の110年―」
案内人　同志社社史資料センター
社史資料調査員　小枝　弘和

**○新町チャペル・アワー**

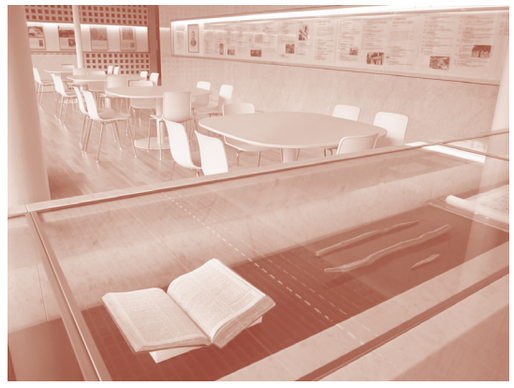
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2020年度・2021年度と中止していましたが、今年度は下記日程で開催します。
新町キャンパスを学びの拠点としている学生の皆さん、ぜひこの機会にご参加ください。
11月15日（火）
社会学部准教授　マーサ・メンセンディーク
「居場所を求めて」
時間：12：35 ～ 13：00
会場：新町キャンパス内教室
（後日掲示板等で、ご案内します。）
時間と場所にご注意ください。
（※11月15日は、今出川キャンパスでのチャペル・アワーを行いません。）

**○聖書に親しむプログラム**

一人ひとりが聖書と向き合い、ディスカッションすることを通じて聖書に親しむための集いです。大学に入学して初めて聖書を手に取った、という方ももちろん大歓迎。開講期間中に行っています。
＜今出川校地＞
クラーク記念館ラウンジ（クラーク記念館１階）
「聖書を学ぶ会」　１ヵ月に１回程度
「聖書を味わおう」　毎週金曜日 13：15 ～ 14：00
＜京田辺校地＞
同志社京田辺会堂 光館（HIKARI-KAN）チャプレン室
「聖書研究会」　毎月第４火曜日 10：45 ～ 11：45
「スタートアップ：聖書の扉」　毎週金曜日 13：15 ～ 14：00

**○同志社京田辺会堂光館ラウンジ展示**

・第15期展テーマ：「新島襄の学校構想
－新島の描いた Vision と Challenge －」
会期：2022年7月1日～10月下旬　9：00 ～ 17：00
・第16期展テーマ：「新島襄の遺した言葉」
会期：2022年10月下旬～2023年3月下旬　9：00 ～ 17：00
＊土・日・祝日、大学休校期間を除く。
新島襄や同志社の歴史と建学の精神に関する展示を行っており、今年度に限り３期に分けて展示を行います。自由にご覧になれますので、ぜひお越しください。



**○チャプレンとの面談**

学生の人生における悩みや不安などの相談に応じています。
（教会のみならず、学校、病院などで働きを担う牧師をチャプレンと呼びます。）
今出川校地・京田辺校地
随時受付：越川　弘英、森田　喜基
今出川校地
金曜日　14：00 ～ 15：00　仲程　愛美
京田辺校地
金曜日　14：00 ～ 15：00　川江　亜希子

**○メディテーション・アワー**

オルガニストによるオルガン演奏を聴きながら心静かなひとときをお過ごしください。
今出川校地　9月26日（月）～12月22日（木）までの月～木 12：40 ～ 13：00
会場：同志社礼拝堂（11月はクラーク・チャペル）
京田辺校地　9月26日（月）～12月22日（木）までの月・木 12：40 ～ 13：00
会場：同志社京田辺会堂言館（KOTOBA-KAN）礼拝堂

## チャペル・アワー

秋学期：9月27日（火）～2023年1月25日（水）＊授業開講日に実施します。

◎当日の奨励題など詳細につきましては、ホームページや学内掲示板をご覧ください。

◎チャペル・アワーは礼拝堂で行うとともに、両校地週1回分は録画によるオンライン配信をする予定です。

◎情報保障が必要な方は、2週間前までにチャペル・アワーを実施する校地の事務室までお知らせください。

◎チャペル・アワーに参加の方は、マスクを着用し、間隔を空けて着席してください。

### スケジュール（秋学期前半）

### 京田辺校地

#### 火曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館礼拝堂　毎火曜日12時35分～13時

| 月/日 | 奨励者 |
|---|---|
| 9/27 | 日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師<br>**渡辺 圭一郎** |
| 10/4 | 日本キリスト教団高の原教会牧師<br>**竹ヶ原 政輝** |
| 10/11 | 日本キリスト教団京都葵教会牧師<br>**内山 友也** |
| 10/18 | キリスト教文化センター准教授<br>**森田 喜基** |
| 10/25 | 日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師<br>**渡辺 圭一郎** |
| 11/1 | 日本キリスト教団京都葵教会牧師<br>**内山 友也** |
| 11/8 | 日本キリスト教団高の原教会牧師<br>**竹ヶ原 政輝** |
| 11/15 | 日本キリスト教団能登川教会牧師<br>**谷 香澄** |

#### 水曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館礼拝堂　毎水曜日12時35分～13時

| 月/日 | 奨励者 |
|---|---|
| 9/28 | 日本キリスト教団石橋教会牧師<br>**仲程 愛美** |
| 10/5 | 日本キリスト教団芦谷西教会牧師<br>**若林 一義** |
| 10/12 | ※音楽礼拝（青空チャペル）<br>神学部教授<br>**関谷 直人** |
| 10/19 | 一般社団法人難民ナウ代表理事<br>**宗田 勝也** |
| 10/26 | 日本キリスト教団箕面教会牧師<br>**家山 華子** |
| 11/2 | スポーツ健康科学部教授<br>**二宮 浩彰** |
| 11/9 | Doshisha Spirit Week 2022 秋<br>経済学部教授<br>**横井 和彦** |
| 11/16 | 社会福祉法人イエス団空の鳥幼稚園園長<br>**平田 義** |

#### 金曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館礼拝堂　毎金曜日12時35分～13時

| 月/日 | 奨励者 |
|---|---|
| 9/30 | 日本キリスト教団浪花教会副牧師<br>**川江 亜希子** |
| 10/7 | 日本キリスト教団阿倍野教会牧師<br>**山下 壮起** |
| 10/14 | 日本キリスト教団河内天美教会牧師<br>**今井 このみ** |
| 10/21 | キリスト教文化センター教授<br>**越川 弘英** |
| 10/28 | 日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師<br>**吉岡 恵生** |
| 11/4 | 日本キリスト教団浪花教会副牧師<br>**川江 亜希子** |
| 11/11 | 日本キリスト教団阿倍野教会牧師<br>**山下 壮起** |
| 11/18 | 日本キリスト教団河内天美教会牧師<br>**今井 このみ** |

### 今出川校地

#### 火曜チャペル・アワー

神学館礼拝堂　毎火曜日17時30分～18時10分

| 月/日 | 奨励者 |
|---|---|
| 9/27 | キリスト教文化センター准教授<br>**森田 喜基** |
| 10/4 | 日本キリスト教団天満教会牧師<br>**小西 望** |
| 10/11 | 神学研究科生<br>**澤田 果歩** |
| 10/18 | 同志社中学校・高等学校キリスト教科教諭<br>**川江 友二** |
| 10/25 | 日本キリスト教団室町教会牧師<br>**浅野 献一** |
| 11/1 | キリスト教文化センター教授<br>**越川 弘英** |
| 11/8 | Doshisha Spirit Week 2022 秋<br>同志社女子大学現代社会学部准教授<br>**山下 智子** |
| 11/15 | ※新町チャペル・アワー<br>社会学部准教授<br>**マーサ・メンセンディーク** |

#### 水曜チャペル・アワー

同志社礼拝堂　毎水曜日10時45分～11時30分

| 月/日 | 奨励者 |
|---|---|
| 9/28 | キリスト教文化センター所長<br>**村上 みか** |
| 10/5 | 日本キリスト教団神戸イエス団教会牧師<br>**上内 鏡子** |
| 10/12 | 日本キリスト教団堅田教会牧師<br>**東 昌吾** |
| 10/19 | 日本キリスト教団扇町教会牧師<br>**山田 真理** |
| 10/26 | 日本キリスト教団賀茂教会牧師<br>**藤浪 敦子** |
| 11/2 | 日本キリスト教団阿倍野教会牧師<br>**山下 壮起** |
| 11/9 | Doshisha Spirit Week 2022 秋<br>同志社女子中学校・高等学校社会科教諭<br>**浮田 倫太朗** |
| 11/16 | 日本キリスト教団尼崎教会牧師<br>**桝田 翔希** |

#### 金曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社礼拝堂　毎金曜日12時35分～13時

| 月/日 | 奨励者 |
|---|---|
| 9/30 | 日本キリスト教団同志社教会牧師<br>**菅根 信彦** |
| 10/7 | 日本キリスト教団石橋教会牧師<br>**仲程 愛美** |
| 10/14 | 神学部教授<br>**石川 立** |
| 10/21 | 日本キリスト教団北千里教会牧師<br>**宮岡 真紀子** |
| 10/28 | 日本キリスト教団牧師（京都教区巡回教師）<br>**堀江 有里** |
| 11/4 | 日本キリスト教団同志社教会牧師<br>**菅根 信彦** |
| 11/11 | 神学部教授<br>**石川 立** |
| 11/18 | 日本キリスト教団石橋教会牧師<br>**仲程 愛美** |

※京田辺校地10／12の奨励は青空チャペルで行います。

※今出川校地の11／15のチャペル・アワーは12時35分から、新町キャンパスで行います。

時間と場所にご注意ください（詳細は裏面「新町チャペル・アワー」をご覧ください）。

エッセイ

## 『未来を育むまなざし』

坂本 南美」

ここ十年、さまざまな国々の教師の成長を辿るため、外国語教育として英語や日本語を教えている教師へのインタビューを実施してきました。オーストラリアのパース市では、外国語科目として日本語を選択したことをきっかけに日本語教師の道へと進んだオーストラリア人、現地の大学で教員免許を取得した日本人、また外国語指導アシスタントとして日本語授業をサポートする指導助手など、多様なメンバーが一つのチームとなって教育に向き合っています。

日本の中学校・高等学校の学校現場と共通する点として、学年や進路指導部、生徒部などの各チームの中で同僚性を育みながら教育実践を行う点が挙げられるでしょう。学校は「社会の縮図」といわれています。さまざまな人たちとともに多感な時期を過ごす生徒たちとの日々においては、外国語の能力だけでなく、人としての成長を支えることも大切な要素の一つです。父親のような存在の先生や母親のような印象を持つ先生、生徒との年齢が近く兄や姉のように感じる先生。教師たちが各々の立場から協働的な教育実践を展開する様子は、ある意味では一つの大きな家族を思わせます。アメリカの哲学者ジョン・デューイは、『学校と社会』の中で「家庭での経験を学校で洗練させて知識へと結びつけていくことが大切だ」と記しています。

日本の学校では、定期的な面談に加えて授業外の活動でも生徒一人ひとりとの関係性を大切にしています。オーストラリアでも同様ですが、他国からの移住により入国した家庭も多く、教師へのインタビューを通して、個々の生徒の文化的背景を理解しながら関係性を築く必要性を感じます。異文化での生活では葛藤や摩擦も生じやすく、だからこそ寄り添いながらサポートを重ねるケースも出てきます。新島襄の「人一人ハ大切ナリ」ということばのように、教師たちは生徒一人ひとりを大切に育むまなざしを持つことが求められているのではないでしょうか。

十年前にオーストラリアで出会った当時の高校生と日本で再会したことがあります。日本の大学への交換留学を経験した彼の日本語はとても上達しており、今後も自分の専門分野を生かしながら日本とのつながりを持ち続けていきたいと話していました。

国の違いはあれども、教室での教師と生徒による教えと学びは、未来を創る営みです。教室では、社会的な関係の中で、個人の成長とともにクラスというコミュニティとしての成長も生起していきます。そこには、個々を尊び、未来を育むまなざしがあるのだと感じます。

（さかもと・なみ＝グローバル地域文化学部准教授）